



くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2019年11月17日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

京都市長選挙へ福山和人^{弁護士}

2018府知事選挙
京都市内で
46.4%得票

立候補への決意を表明!!

来年2月2日投票で市長選挙が行われます。11月11日に弁護士の福山和人さんが「つなぐ京都2020」の会から市長選挙に立候補することを、記者会見で公表されました。

福山和人さんは、昨年の京都府知事選挙で、京都市内46.4%の得票という大健闘をされました。当時の出口調査では、立憲民主党支持層の6割、無党派層の過半数が福山さんに投票したという事です。

いま、市民の生活と京都のまちが危機に陥る事態になっています。高すぎる国民健康保険料や小学校の跡地にホテルを呼びこみ観光郊外と言われる事態や市の職員を3300人も減らし、公の仕事を民間に丸投げする等、このままでは、暮らしも街も大変です。地方自治体の役割は、国の悪政から住民を守る防波堤の役割を果たすことです。

安倍内閣の言いなりで儲け最優先ではなく、市民の声を聴ける市長が必要です。福山さんを市長に押し上げ、安心して住める京都市をつくりましょう。敬老乗車用を守り抜きましょう！

四条烏丸で緊急街宣
11/17(日) 午後4時～



西野市議が「関電の金品授受」に関する意見書を提案・討論



西野さち子市議は10月30日の閉会本会議で、関西電力の幹部20人が約3億2000万円の金品を福井県高浜町の元助役から受け取っていた問題で、全容解明を国に求める意見書を提案し討論しました。

この問題の根底には、これまで国が進めてきたエネルギー政策にあります。元助役が就任していた10年間は

原発の稼働に大きな役割を果たしてきました。2011年3月11日に東日本大震災が発生し、原子力政策が根本から問われる事態になりました。

しかし、その後も「原発マネー」の還流は止まりませんでした。電気料金を原資とする工事費の一部が、「原発マネー」として還流し、便宜供与があったのではないかとの疑惑があります。更に、原発利権に絡む「原発マネー」の還流については、高浜原発以外でも政治家にも及んでいることが様々指摘されてきており、今回のことは「氷山の一角に過ぎない」との声もあります。このような状況の中で、関電は2011年以降家庭向けの電気料金を二度にわたって値上げをしているのです。国会に関係者を参考人招致し、交付金の使い道も含めて、不透明な「原発マネー」の還流や癒着の構造を徹底的に明らかにすることが必要です。

2020年度予算要望を提出しました

日本共産党市会議員団18人は、市民の皆さんとの懇談や様々な機会でお聞きした声を要望書にまとめて提出しました。

市民の運動と議会論戦が一つになって実った要望も多くあります。これからも市民の皆さんの声を実現するために頑張ります。



議会報告演説会のご案内

11月24日(日)
10:30~11:30

池田東小学校体育館

おもな弁護士
参議院議員 倉林明子
弁護士 福山和人
市会議員 西野さち子

お誘い合わせてぜひご参加ください